

平成 19 年 3 月 12 日

各 位

国際石油開発帝石ホールディングス株式会社

代表取締役社長 黒田 直樹

(コード番号：1605)

問合せ先：広報・IR エキスパート・マネージャー 宮本 修平

(電話：03-5448-0205)

インドネシア共和国東カリマンタン沖南東マハカム鉱区の取得について

～当社マハカム沖鉱区の隣接鉱区を落札～

2006 年インドネシア共和国新規探鉱公開入札におきまして、当社子会社の国際石油開発株式会社は、3 月 2 日、TOTAL 社と共同で原油・天然ガスの探鉱・開発・生産事業を実施しているマハカム沖鉱区に隣接する探鉱鉱区である南東マハカム鉱区*の権益を取得いたしましたので、お知らせいたします。

南東マハカム鉱区は、インドネシア共和国東カリマンタンの沖合に位置し、鉱区面積は約 2,000km²、水深は 50m～200mとなっております。国際石油開発(株)は、50%の権益を保有し、オペレーターのTOTAL社（50%）とともに、本鉱区における探鉱活動を行ってまいります。

当社グループは、インドネシアにおいて、東カリマンタンマハカム沖鉱区で 50%の権益を保持する原油・天然ガスの探鉱・開発・生産事業、100%権益を保有するオペレーターとしてチモール海沖合マセラ鉱区で発見したアバディガス田の探鉱・評価作業等の事業を実施しております。今回の南東マハカム鉱区の取得により、当社グループのインドネシアでの原油・天然ガスの探鉱・開発・生産事業は、一層拡大してまいります。

南東マハカム鉱区* : South East Mahakam Production Sharing Contract Area

以上

南東マハカム鉱区位置図

